



## 平成30年度 学校評価結果の報告

### 1 学校評価の結果の見方について

前橋市では、平成24年度から、市が定めた共通項目に学校独自の項目を含む観点について、保護者の皆様方が日頃感じている重要度と実現度の両面から評価していただく、ニーズ度方式によるアンケートを実施しております。「重要度」「実現度」「ニーズ度」についての説明は、以下の通りです。

まず、回答していただいた「重要度」「実現度」の回答をそれぞれ得点化し、平均を出します。

- 重要度・大変重要…7点 ・やや重要…5点 ・あまり重要でない…3点 ・重要でない…1点  
○実現度・よくできている…7点 ・大体できている…5点 ・あまりできていない…3点 できていない…1点

次に、その2つの数値を計算式にあてはめ、「ニーズ度」を算出します。

算出方法は、

$$\text{ニーズ度} = \text{重要度} \times (8 - \text{実現度})$$

です。

ニーズ度は、重要度が高く、実現度が低いほど高い数値を示すものです。いくつかの例を示します。

例① 重要でない（1）が、よくできている（7）場合、 $1 \times (8 - 7) = 1$  でニーズ度は最小値。

例② やや重要（5）だが、あまりできていない（3）場合、 $5 \times (8 - 3) = 25$

例③ 大変重要（7）だが、できていない（1）場合、 $7 \times (8 - 1) = 49$  でニーズ度は最大値。

ニーズ度が25以上の項目、あるいはそれに近い数値の項目が、学校として取り組む課題と考えられます。本校は、25を超える項目はなく、よい結果となりましたが、「ニーズ度」や「マトリクス分布」、教職員の評価結果、日頃の教育活動の様子等を考慮し、よりよい教育活動のため重点課題を設定し、改善策を考えました。

### 2 保護者の評価結果

★4つの項目を重点課題としました。

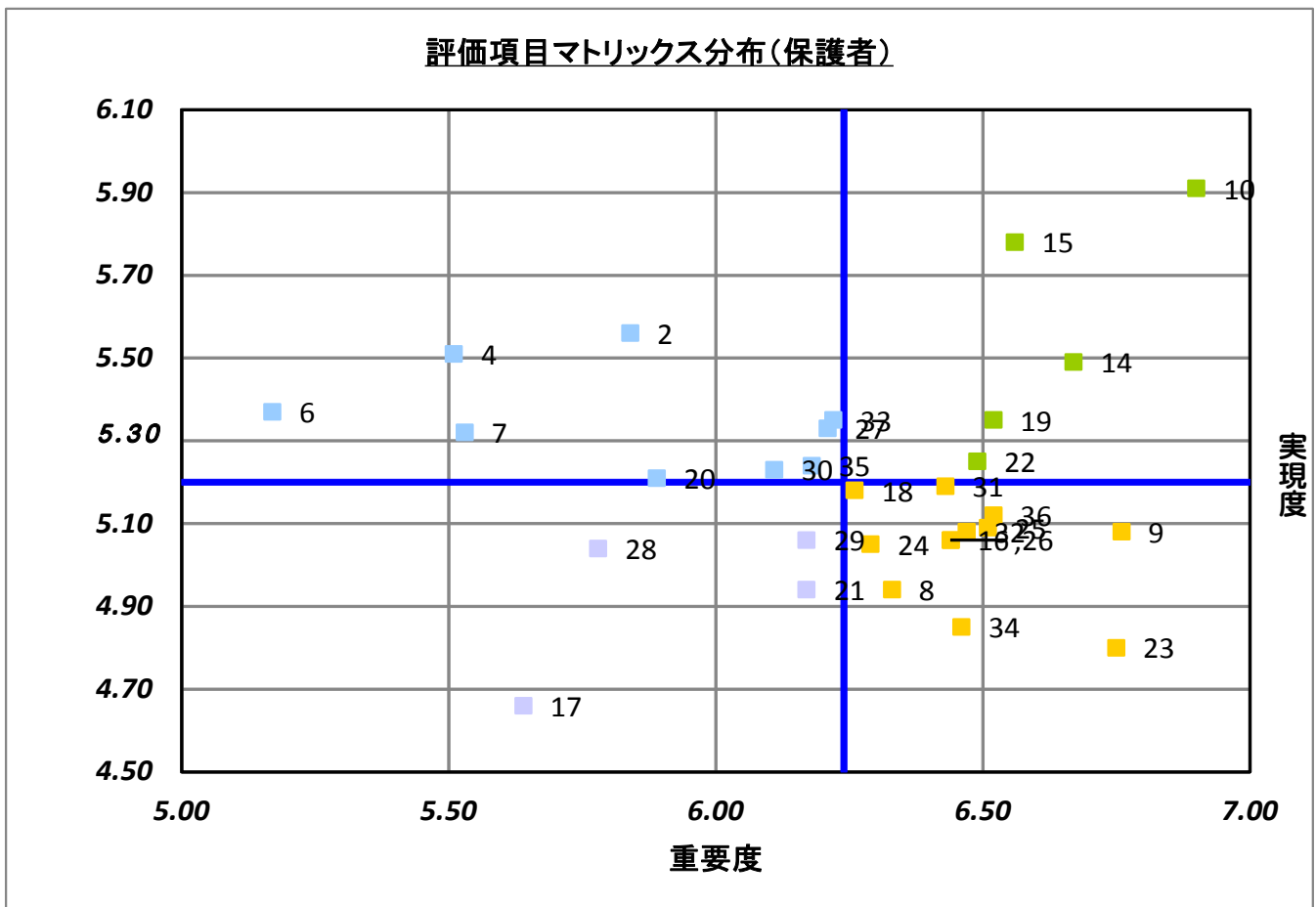
番号	設 問	重要度	実現度	ニーズ度	課題
1	学校評価に基づく取組の成果と課題を家庭に知らせ、改善すること	5.8	5.6	13.9	
2	保護者や地域住民が教育活動に参画できるような仕組みづくりを進めること	5.5	5.5	13.8	
3	PTAや地域の組織を生かした教育活動を進めること	5.2	5.4	13.5	
4	家庭、地域との連携を図り、地域行事や交流活動への参加やそれに向けた働きかけをすること	5.5	5.3	14.9	
5	障害への理解を深め、学校全体で組織的に取り組むこと	6.3	4.9	19.5	
6	不登校やいじめ対策に、学校全体で組織的に取り組むこと	6.8	5.1	19.7	★ 3
7	お子さんが楽しく学校に通っていること	6.9	5.9	14.5	
8	安全管理や環境衛生管理を充実させ、安全確保に努めること	6.7	5.5	16.8	
9	関係諸機関と連携した危機管理体制を充実させ、交通安全教室や避難訓練の実施など安全教育に努めること	6.6	5.8	14.5	
10	「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて授業を充実させること	6.4	5.1	18.6	
11	学習の効果を高められるよう、パソコンなどICT機器の活用を進めること	5.6	4.7	18.5	
12	調べる、試す、つくるなど体験的な学習を重視した授業を充実させること	6.3	5.2	17.6	

13	基礎的な知識や技能を身に付けられるような学習を充実させること	6.5	5.3	17.6	
14	学習に図書室を活用すること	5.9	5.2	16.5	
15	コミュニケーションする楽しさを大切に、外国語教育を充実させること	6.2	4.9	19.2	
16	お子さんが、毎日、家庭で学習するなど、学習習慣を身に付けること	6.5	5.3	17.6	
17	お子さんが進んであいさつや返事をする事	6.7	4.8	21.4	★ 1
18	よりよい生き方を考えられるよう、道徳教育を進めること	6.3	5.0	18.9	
19	人権感覚を高め、自他の大切さを認め合える人権教育を進めること	6.5	5.1	18.9	★ 4
20	あたたかな人間関係を築くための体験的な活動を充実させること	6.4	5.1	18.6	
21	自然を愛し、自然を守る心を育む教育を進めること	6.2	5.3	16.7	
22	地域の偉人や歴史、または自然や文化に触れ、郷土について学ぶ教育活動を進めること	5.8	5.0	17.4	
23	集団や社会の一員としての自覚をもち、規範意識を高める指導を充実させること	6.2	5.1	18.0	
24	運動好きな子供を育てるための、体力づくりを進めること	6.1	5.2	17.1	
25	基本的な生活習慣を身に付け、自分の健康を管理する力を育てること	6.4	5.2	17.9	
26	健康な生活のために、バランスよく食べるなど、望ましい食習慣を身に付けること	6.5	5.1	18.9	
27	病気の早期治療の啓発や、病気の予防に関する指導を行うこと	6.2	5.3	16.7	
28	将来、社会人として自立していくための力を育てる教育を進めること	6.5	4.8	20.8	★ 2
29	協力してよりよい学校生活を送れるよう、主体的な学級活動や児童会活動の取組を充実させること	6.2	5.2	17.4	
30	自分の役割を理解し、最後までやり抜く態度を育てる活動を進めること	6.5	5.1	18.9	

### 3 保護者結果マトリックス表 ※ ( ) 内の番号は、3 ページのマトリックス分布の番号と対応しています。

実現度が高いもの	<b>【十分取り組んでいるもの】</b>	<b>【成果が出ているもの】</b>
	1 学校評価に基づく取組の成果と課題を家庭に知らせ、改善すること (2)	17 お子さんが楽しく学校に通っていること (10)
	2 保護者や地域住民が教育活動に参画できるような仕組みづくりを進めること (4)	9 関係諸機関と連携した危機管理体制を充実させ、交通安全教室や避難訓練の実施など安全教育に努めること (15)
	3 PTAや地域の組織を生かした教育活動を進めること (6)	8 安全管理や環境衛生管理を充実させ、安全確保に努めること (14)
	病気の早期治療の啓発や、病気の予防に関する指導を行うこと (33)	13 基礎的な知識や技能を身に付けられるような学習を充実させること (19)
	27 自然を愛し、自然を守る心を育む教育を進めること (27)	16 お子さんが、毎日、家庭で学習するなど、学習習慣を身に付けること (22)
	4 家庭、地域との連携を図り、地域行事や交流活動への参加やそれに向けた働きかけをすること (7)	
	29 協力してよりよい学校生活を送れるよう、主体的な学級活動や児童会活動・生徒会活動の取組を充実させること (35)	
24 運動好きな子供を育てるための、体力づくりを進めること (30)		
14 学習に図書室を活用すること (20)		

	【優先度の低い課題】	【優先度の高い課題】
実 現 度 が 低 い も の	23 集団や社会の一員としての自覚をもち、規範意識を高める指導を充実させること（29）	25 基本的な生活習慣を身に付け、自分の健康を管理する力を育てること（31）
	22 地域の偉人や歴史、または自然や文化に触れ、郷土について学ぶ教育活動を進めること（28）	12 調べる、試す、つくるなど体験的な学習を重視した授業を充実させること（18）
	15 コミュニケーションする楽しさを大切に、外国語教育を充実させること(小学校のみ)（21）	30 自分の役割を理解し、最後までやり抜く態度を育てる活動を進めること（36）
	11 学習の効果を高められるよう、パソコンなどICT機器の活用を進めること（17）	19 人権感覚を高め、自他の大切さを認め合える人権教育を進めること（9）
	6 不登校やいじめ対策に、学校全体で組織的に取り組むこと（32）	26 健康な生活のために、バランスよく食べるなど、望ましい食習慣を身に付けること（16）
	20 健康な生活のために、バランスよく食べるなど、望ましい食習慣を身に付けること（16）	10 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて授業を充実させること（25）
	18 よりよい生き方を考えられるよう、道徳教育を進めること（24）	20 あたかな人間関係を築くための体験的な活動を充実させること（26）
	5 障害への理解を深め、学校全体で組織的に取り組むこと（8）	18 よりよい生き方を考えられるよう、道徳教育を進めること（24）
	28 将来、社会人として自立していくための力を育てる教育を進めること（34）	5 障害への理解を深め、学校全体で組織的に取り組むこと（8）
	17 お子さんが進んであいさつや返事をする事（23）	28 将来、社会人として自立していくための力を育てる教育を進めること（34）
		17 お子さんが進んであいさつや返事をする事（23）
	重要度が低いもの	重要度が高いもの



## ★課題1 お子さんが進んであいさつや返事をする事

### 学校はこうします

- あいさつの大切さや意義についての理解を深めるようにします。
- 朝行事が行われる日に、「わくわく若宮あいさつ隊」を学級単位で行い、大きな声であいさつする取組を継続します。
- 授業や活動の始めや終わりのあいさつを姿勢良く大きな声でし、名前を呼ばれたら、大きな声で「はい」と返事をする指導を継続します。
- 自分からあいさつができているかを振り返る活動を取り入れます。  
さらに、相手を見て、しっかり聞こえる気持ちのよいあいさつができるようにしていきます。
- 教職員が子供たちに率先してあいさつし、当たり前にあいさつし合うことへの意識付けを図ります。

### 家庭へのお願い

- ・「おはよう」「行ってきます」「ただいま」「いただきます」「ごちそうさまでした」「ありがとう」「おやすみなさい」などの家庭内でのあいさつを保護者の方から率先して行ってください。
- ・地域の人にも進んであいさつができるように、ご指導ください。
- ・子どもの良き手本となるように、まずは大人からあいさつを習慣にしましょう。

## ★課題2 将来、社会人として自立していくための力を育てる教育を進める事

### 学校はこうします

- 全児童に「将来の夢カード」を配り、毎年自分の夢や希望をカードに記入して6年間積み上げる活動を行っています。
- 将来の夢を考えることから、「学びの大切さや」「今がんばることの大切さ」を教えています。
- 学期や行事に向けた目標や、委員会や係活動等の目標をもたせ、実現を目指して努力しようとする態度を育てています。
- 町たんけんや社会科見学など様々な機会に働いている人の話を聞く場面を設けています。
- 一人でやりきる力を、わずかなことから少しずつ身に付けさせていきます。

### 家庭へのお願い

- ・持ち帰った「将来の夢カード」をもとに将来の夢やしてみたい仕事、どのような大人になりたいかなどを話題にして話し合ってください。
- ・「家庭学習の手引き」にある、手伝いや体験活動をする機会を与えたり、いろいろな仕事に興味をもてるような働きかけを行ったりしてください。
- ・自分でできることを増やせるような体験の機会を充実させるとともに、家族の一員として役割を果たした時に「ありがとう」というねぎらいの言葉を使い自己有用感を育てましょう。
- ・お子さんに自分の経験談などを語ってください。
- ・お子さんの将来の夢の自己実現のためには、今の学習や生活の充実が基盤となるので、今の学習や生活を大切にできるように励ましてください。

### ★課題3 不登校やいじめ対策に、学校全体で組織的に取り組むこと

#### 学校はこうします

- 子供たちへの毎月及び学期末のアンケートをもとに教職員全体で共通理解を図り、いじめの未然防止  
・早期発見・早期解消を目指した取組を継続していきます。また、アンケートの裏面を利用して、  
道徳資料を使った心の教育を行っています。
- 全児童を対象とした担任と1対1での教育相談を行っています。
- 子どもの実態を把握し、一人一人の子供にとって、居場所があり、楽しい学校になるように指導を継続します。
- 子供たちの様子、スクールカウンセラーの情報等、学校での取組を家庭にお知らせし、学校と家庭が協力して取り組んでいけるようにします。
- いじめを見逃さない教職員の見守り体制づくりでは、毎月の生徒指導会議や特別支援会議等にて、児童理解に関する情報共有を行っています。
- 高学年で実施している情報モラル講習会を通して、携帯電話や通信型ゲーム機などを通じたインターネット利用に起因するトラブルや事件について、児童への指導と保護者への啓発に取り組んでいます。

#### 家庭へのお願い

- ・お子さんへ十分な目配りをし、何でも話し合える雰囲気を作ってください。
- ・お子さんの変化に気付いたら、学校にも相談してください。スクールカウンセラーに直接相談することもできます。(要予約)
- ・インターネットやスマホの利用時でのルール（SNSの使い方）を家庭で話し合ったり見直したりしてください。

### ★課題4 人権感覚を高め、自他の大切さを認め合える人権教育を進めること

#### 学校はこうします

- 道徳や学級活動等様々な活動を通し、相手の気持ちや立場を考え、望ましい言動がとれるよう繰り返し指導しています。
- なかよし集会や日常の学校生活において、友だちのよさを見つけ、互いに認め合う活動を行っています。
- 人権集会において、人権擁護委員の方々と連携した、人間として生まれながらにもっている権利についての学習をしたり、親子で作成した標語を掲示したりして人権意識を高めています。
- 人権に関するビデオなどを視聴し、人権について学級で話し合う活動を行っています。
- 教職員一人一人が、自分自身について振り返り、常に望ましい人権感覚をもてるよう努めます。
- 相手の気持ちを考えて行動がとれるように、ソーシャルスキルトレーニングを取り入れています。
- 保健委員会でレッドリボンを作成し全校に配付し、偏見や差別を持たないこと等、啓発をしています。
- 特別支援学校に通っている児童と一緒に学習したり、遊んだりして交流を行っています。(居住地校交流)

#### 家庭へのお願い

- ・お子さんにいろいろな体験をさせ、感想を聞いたり褒めたりして、自分の成長に気付く喜びを大切にしてください。
- ・「もし自分が言われたり、されたりしたら」というような、相手の立場に立って考えることができるような言葉かけをしてあげてください。
- ・誰とでも仲良く生活できるようにするために、友達の良さを中心に話し合ってください。
- ・家庭や地域において、相手を思いやる言動を実践してください。